

タイトル	土壌ガス調査における想定外物質の検出で調査が一時中断！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="color: red;">「想定外物質の検出！ どうする？」</p>		
作業内容	土壌ガス調査、現地分析		
使用機器	ガスクロマトグラフ (GC-PID)		

不具合事項

- ・土壌ガス調査の現地分析（ガスクロマトグラフ法(GC-PID)）において、対象物質（分解生成物を含む）でない揮発性有機化合物の検出が確認された。
- ・想定外物質の検出で調査全体の信憑性が疑われた。
- ・想定外物質の検出の妥当性が速やかに確認できず、調査が一時中断された。

予防措置(計画者、監督者、作業員)

- ・事前に地歴調査を適切に行い、当該結果に基づいた調査計画を立てる。(計画者、監督者)
- ・事前に行う地歴調査では、対象物質の使用等有無の確認だけではなく、できるだけ詳細な使用等方法や対象地周辺の諸元も確認しておく。(計画者、監督者)
- ・想定外物質の検出が確認されることも考えて、予めその検出の妥当性を確認する別の方法（例えば、ガスクロマトグラフ質量分析法 (GC-MS) による測定など）で対応することも検討しておく。(作業員)

応急措置

- ・ガスクロマトグラフ法(GC-PID)の場合は、リテンションタイムで物質の同一性を判断しているため、別物質が偶然リテンションタイムが一致して誤判断する可能性もあることから、本当に当該物質の検出であるかどうかの妥当性を速やかに確認する。
- ・想定外物質の検出が妥当であった場合は、地歴調査を改めて詳細に行い、追加調査の必要性を検討する。

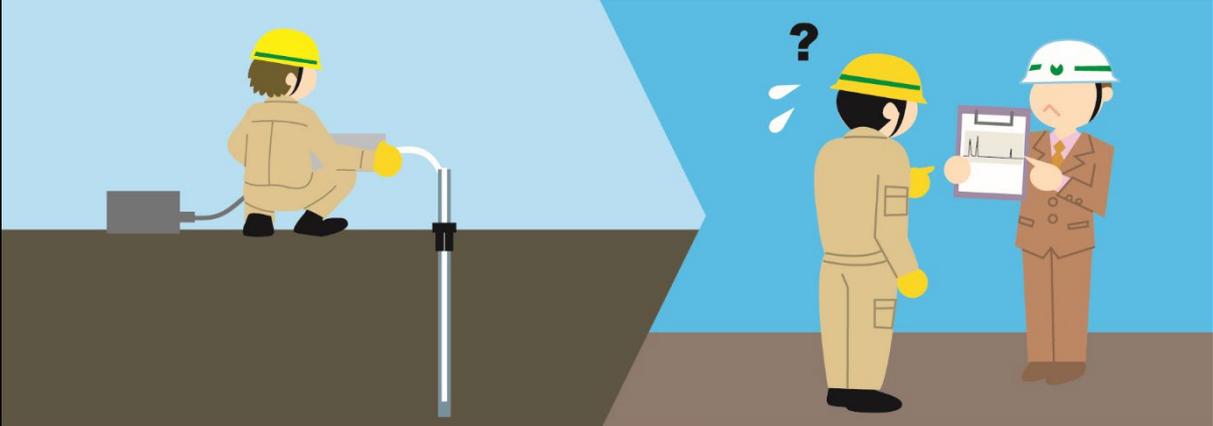
その他、留意事項

- ・洗浄剤として、例えばトリクロロエチレンのみの使用とあっても、製品中に比重、粘性調整等の理由で他の揮発性有機化合物が成分として含有されていることがある。
- ・隣接する工場等で当該物質の使用等がある場合には、隣地に存在する地下水汚染の影響で想定外の物質が検出される可能性がある。

関連法規等、出典	・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第3.1版 Appendix-5
-----------------	--

キーワード	ガスクロマトグラフ (GC-PID) 、地歴調査
--------------	--------------------------

発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微
-------------	---	------------	---

タイトル	土壌ガス調査における想定外物質の検出で調査が一時中断！	
説明図	<p style="text-align: center;">「想定外物質の検出！ どうする？」</p> 	
作業内容	土壌ガス調査、現地分析	
指示事項		
<ul style="list-style-type: none">・ 想定外物質の検出が確認された場合は、速やかに監督者に連絡すること！・ 想定外物質の検出が確認された場合、予めその検出の妥当性を確認する別の方法での対応を検討しておくこと！		
どんな不具合が起こりうるか？		
だから私たちはこうします		
本日の重点施策	ヨシ!!	
サイン		